

良い循環を
つくる。

エコツリー

エコムつうしん 66号 -7月号-

66



サッカー

- ここが知りたい! エコムちゃん
「FC 岐阜」
- ロバのあしあと「農家レストラン やまびこ」



「エコツリー」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。



ここが知りたい!
エコムちゃん

学ぶ

遊ぶ

働く

サッカー

Football



サッカーほど、すそ野の広いスポーツはない。
ヨーロッパはもちろん、南米やアフリカ、アジアの国々、
世界中に広まっていて、先進国が強いとは限らない競技でもある。

FIFA加盟国は、211カ国と地域に及び、
その数はオリンピック参加国より多いと言うのだから、
どれほど人気なのかがわかるよね。

このスポーツの魅力は、ボールと大地さえあれば、
みんな等しくうまくなることができるところ。
だから、世界中のサッカー少年・少女に夢を与えているんだ。

ちなみに、日本の中高生が最も親しんでいるスポーツは・・・
部活動の部員の数で比べると、
一昔前は野球が一番多かったけど、今はサッカー部なんだ。
そういえば、サッカーのユニホームを着た子どもを
よく見かける気がする。

日本にJリーグができたのが、1993年。
それから四半世紀が経ち、
日本の新たなスポーツ文化として定着しつつあるね。

Jリーグ

「地域に根差したスポーツクラブ」として、誰もが生涯を通じてスポーツを楽しめる環境をつくるのがJリーグの理念。原点はドイツにあり、ドイツの人たちが地元クラブに誇りを持ちながら、日常的にスポーツに親しんでいる姿を見て、模範にしたそうです。1993年に10チームでスタートしたJリーグは、J2、J3ができ、今や54チームに。チームの呼称を「地域名+愛称」とすることで、市民、行政、企業の協力を得ることを可能としています。





びっくりの活動回数だね！

FC岐阜「ホームタウン活動」



子どもたちに夢を与え、地域振興の一助となるべき存在が、Jリーグの各チームなんだね。どのチームも、スポーツ教室・健康教室やイベントへの参加などの地域貢献活動に取り組んでいるよ。岐阜県全域をホームタウンとする「FC岐阜」は、そのなかでも地域とのつながりが濃厚。去年は年間で550回(Jリーグ全54チーム7番目の多さ)の「ホームタウン活動」を展開しているんだ。



岐阜大学内の農場で行われた「どろんこサッカー」を取材

企画広報担当の二之湯正悟様にお話を聞いたよ！



岐阜大学と共同でやっているもので、環境のことについてみんなで考える機会にしています。サッカーでどろんこになって、田植え体験もして、とても楽しいひとときです。

ホームタウンデー



FC岐阜ホームゲームでは、岐阜県内の各市町村の観光地やグルメなどをPR。サポーターはもちろん、県外から来るアウェイサポーターにも、岐阜の良さを知ってもらう機会にしているそうです。



小学校サッカー教室



スポーツキャラバン事業



各務原市桜まつり

FC岐阜(株式会社岐阜フットボールクラブ)岐阜市長良福光青襖 2070-7 長良川スポーツプラザ 1F

ホームスタジアム：岐阜メモリアルセンター長良川競技場

※写真提供：(c)Kaz Photography/FC GIFU

ロバの あしあと 地域の女性たちが手作りする スローフードの館。

昭和30年代の里山が体験できる「日本昭和村」。そこにある食事処が、「農家レストラン やまびこ」です。主に岐阜県内でとれた野菜を使用した料理を提供していて、季節によっては昭和村内の畑で収穫された野菜がメニューに並ぶこともあるそうです。昭和の里山の台所をイメージした「おくどさん」をアイキャッチとしていて、懐かしい雰囲気です。



取材当日は、晴天に恵まれた日曜日。園内は多くの人でにぎわっていました。野菜をふんだんに使った料理は、どこか懐かしく、農家におじゃましたようでした。



広報担当 吉田れいかさん

里山の味をお届けしています。

「日本昭和村」は、イベントのある週末に家族連れのお客様が多いです。自然も多く、年間パスポートを利用して園内の散策に使う方も。「農家レストラン やまびこ」は人気で評判が良く、私自身も好きなポイント。おすすめは、人気ナンバーワンの「大根と豚肉のべっこう煮」です。



朝早くからじっくり煮込んで味がしみ込んだ煮物料理は絶品です。



主役は地域の女性たち。サラダ類や煮物、漬物など、昔ながらの地元の味を手作りしています。みなさん、近隣の方ばかり。(右から佐藤さん、長野さん、山田さん、井戸さん)

information

日本昭和村
農家レストラン やまびこ
TEL / 0574-23-0066
住所 / 岐阜県美濃加茂市山之上町
2292-1



「ロバのバン」は、移動販売のバン屋さん。昔懐かしい移動販売車で、岐阜市を中心に半径約1時間以内の地域を巡回しています(他の地域への訪問もあり)。本コーナー「ロバのあしあと」は、販売エリアの魅力スポットをエコツアー独自の視点で紹介しています。



平成29年6月発行

発行：エコムカワムラ株式会社
岐阜県安八郡輪之内町里85番地の3

TEL 0584-68-2033 (代)

制作：いしいデザイン mail@ishii-design.info



「エコツアー」Facebook

<https://www.facebook.com/ecotsuu/>

